

## 第 114 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
未収金	他店商品券	前払金	従業員貸付金
従業員立替金	備品	支払手形	買掛金
借入金	社会保険料預り金	所得税預り金	当座借越
資本金	商品券	売上	受取手数料
受取利息	有価証券売却益	仕入	租税公課
給料	支払利息	発送費	保険料

1. 商品券を精算するため、当社が保有している他店商品券 100,000 円と他店の保有している当社発行の商品券 120,000 円とを交換し、差額については現金で決済した。
2. 店主の生命保険料 90,000 円と店舗兼住居用の建物の火災保険料 250,000 円について、当座預金口座より引き落とされた旨の通知が取引銀行からあった。ただし、火災保険料のうち、20%は店主個人住居部分に対してである。
3. かねて森商店より掛けで仕入れ、村井商店に対して掛けで販売していた商品 60 ケース（取得原価@8,000 円、売価@12,000 円）のうち、6 ケースに汚損があったため、1 ケース当たり 2,000 円の値引を承諾し、10 ケースについては品違いのため返品されてきた。なお当社は、売上値引勘定や売上戻り勘定は使用していない。
4. 今月の給料支給額 3,000,000 円から、従業員に対する貸付金の返済額 800,000 円及びその利息 10,000 円を差し引き、手取り額を当座預金口座から振り込んだ。
5. 本多商店から商品 300,000 円を仕入れ、代金のうち 150,000 円については酒井商店振り出し、榊原商店あて（引受済み）の為替手形を裏書譲渡し、残額については小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は 100,000 円であったが、取引銀行と当座借越契約（借越限度 300,000 円）を結んである。